

## 使い終わった油が空のエネルギーになる日!?

 SDGsラジオを読んでみよう!

みなさん、からあげやフライドポテトはすきですか?あげものをつくると、油が残ります。この使い終わった油を「廃食油」といいます。日本では、1年間で約50万トンもの廃食油が出ていて、牛や豚たちのエサにリサイクルされたりもしますが、多くは捨てられています。そこで、まちや住まいをつくる会社「東急不動産ホールディングス」では、北海道の札幌市内にあるお店や、「東急リゾーツ&ステイ」という会社のホテルやゴルフ場で出た廃食油を集め、機械を動かす燃料に生まれ変わらせる取り組みをはじめました。この燃料を「SAF(サフ)」といい、なんとこれで、飛行機を飛ばせるんですよ。さらに、SAFから出る二酸化炭素の量はこれまでの燃料よりも、6割以上少ないです。むだづかいを減らし、しかも地球にやさしい。SAFはそんな夢のような燃料です。みなさんが大人になるころには、「飛行機はSAFで飛ぶ」が当たり前になっているかもしれませんね。

 SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう!

画像参照：廃食油と航空機のイメージ画像



あげものなどの調理で使った後に残った油を「廃食油」といいます。現在、日本では食品工場や飲食店、スーパー、コンビニなどから1年間に約50万トンもの廃食油が出ています。廃食油は、主に牛や豚のエサなどにリサイクルされていますが、使いきれずに捨てられているものも多いです。そこで今、この廃食油を使った燃料「SAF(サフ)」に世界中の注目が集まっていて、航空機(飛行機やヘリコプターなど)の燃料をこれまでの化石燃料から、SAFに切り替える取り組みが進められています。



画像参照：廃食油活用の流れ(東急不動産プレスリリースより)

まちや住まいをつくる会社「東急不動産ホールディングス」でも、廃食油をSAFの原料として活用する取り組みをはじめました。札幌市にある大きな商業施設「COCONO SUSUKINO」や、グループ会社の東急リゾーツ&ステイが運営するホテルやゴルフ場で出た廃食油を回収し、SAFをつくっています。SAFはこれまでの燃料と比べて、6割以上の二酸化炭素を減らす効果があると言われ、地球温暖化を防ぐことができると期待されています。日本では、「2030年までに、日本の航空機に使う燃料の10%をSAFにする」ことを目標にしており、東急不動産ホールディングスもこの目標達成に向けて取り組んでいきます。

 キーワード

## SAF(サフ)

廃食油を使ってつくられる「航空機の燃料」です。Sustainable Aviation Fuel(ステナブル・エイビエーション・フューエル)の略で、前から順に「持続できる・航空・燃料」という意味です。

## 化石燃料

石炭・石油・天然ガスなどの、動植物の化石からできた燃料となる地下資源のことです。

## 地球温暖化

大気中の二酸化炭素が増えて地球全体があたたまり、地球の平均気温が上がっていく現象のことです。

 対象ゴール

## みなさんにできること!

廃食油をむだにしないために、何ができるか考えてみましょう。

- 日本では、1年間に約50万トンもの廃食油が出ている。
- 東急不動産ホールディングスでは、廃食油を活用してSAFをつくる取り組みを行っている。
- SAFはこれまでの航空機の燃料と比べ、6割以上の二酸化炭素を減らす効果があり、地球温暖化防止に役立つ。

## メモ

